

NO.	大項目	中項目	小項目	実施内容	ステータス（22.10.7）	# 6【今回】 ステータス（24.3）	是正報告書(別表1) との関係
原点に立ち返り、“お客様・社会のお役に立つ”を起点に				・誠実・貢献・共感を共通する3つの価値観とした新たな企業理念HINOウェイの浸透 お客様や社会に貢献するという原点に 立ち返り、一人ひとりの判断・行動の礎として浸透・定着を図る[B-1]	実施中	実施中	(3)⑦
				・ものづくり機能(工場)での安全防災活動やコミュニケーション強化	-	実施中	
1	「人財尊重」と 「正しい仕事」 を実践する 経営改革	(1) 経営の人心一新		・社長や経営層による現場／職場への行脚 ・役員執務エリアのオープン化 ・経営層の行動宣言と、実践に対する従業員による評価 ・経営層の経営課題討議合宿 ・経営層による全社員へのメッセージ発信[B-2] ・経営層による全社課題共有と推進強化	企画 中	実施中 実施済 実施中 実施中	(3)⑨
				・機能を超えて関係者が目的を共有し、「一緒に考え一緒に走る」体制の実現	実施中	実施中	
				・3線体制による、内部統制機能強化（①事業部門、②管理・統括部門、③内部監査部門） ・内部監査機能の体制拡充、外部機関による内部監査の実効性評価 ・業務プロセス・規定類・マニュアル・データ管理の再整備、運用徹底	企画 中	実施中	
				・外部機関による実効性評価を踏まえた取締役会の監督機能強化 ・取締役による議論の重点を事業目標達成から経営基盤強化へシフト ・取締役会の実効性を高めるための多様性のある人員構成への見直し		実施中	
				・語り部と従業員との対話による理解・浸透 ・社内常設施設での展示教育 ・"再出発の日"の制定	実施中 企画 中	実施中 実施中 実施済	
		(3) 健全な経営を 支えるガバナンス	1) 内部統制システムの強化	・3線体制による、内部統制機能強化（①事業部門、②管理・統括部門、③内部監査部門） ・内部監査機能の体制拡充、外部機関による内部監査の実効性評価 ・業務プロセス・規定類・マニュアル・データ管理の再整備、運用徹底	企画 中	実施中	
			2) 経営監督機能の強化	・外部機関による実効性評価を踏まえた取締役会の監督機能強化 ・取締役による議論の重点を事業目標達成から経営基盤強化へシフト ・取締役会の実効性を高めるための多様性のある人員構成への見直し		実施中	
2	「人財尊重」を 中心に据えた 組織風土改革	(4) 不正を許さず、 風化させない コンプライアンス 意識の確立	1) 不正を許さず、風化させないための取り組み	・語り部と従業員との対話による理解・浸透 ・社内常設施設での展示教育 ・"再出発の日"の制定	実施中 企画 中	実施中 実施中 実施済	(3)⑨
			2) コンプライアンス強化に向けた取り組みの継続	・社外役員・専門家も交えたコンプライアンス委員会を 設置し、経営レベルでの議論を四半期ごとに実施[B-4] ・コンプライアンス推進室を設置し、経験・知識ある外部人財を含めてリソースを高度化・拡充。 技術コンプ ライアンス責任者/グループの新設[B-5] ・再発防止策実施のための部門横断によるタスクフォースを設置し、外部弁護士を交えた定期確認を継続 [B-11] ・定期通信やポスターなどのコンプライアンス意識醸成のためのカルチャーチェンジ・プラン [B-3] ・コンプライアンス体制・活動強化を図るための、コンプライアンス規則の整備・改善 [B- 6] ・安心してスピークアップできる仕組みとして、内部通報制度の強化 [B- 7] ・役員・従業員のコンプライアンス意識改善のためのコンプライアンス研修の拡充 [B- 8] ・定期的な全従業員へのコンプライアンス意識調査 [B- 9] ・会社が求める従業員像にコンプライアンスが必須で あることの明確化・人事評価への反映 [B-10]	実施中	実施中	(3)⑨
		(1) みんなでお客様に 向き合い、 協力し合う文化	1) “お客様視点”のマインドセット	・お客様現場／販売会社／異業種との積極的な人財交流	企画 中	実施中	
			2) タテ／ヨコ／ナナメの対話・人のつながりの活性化 例) 労使：職場懇談会、労使委員会 風土改革チーム：階層別対話会	・相互理解を深めるための対話機会の増加（外部専門家による支援） 例) 労使：職場懇談会、労使委員会 風土改革チーム：階層別対話会 ・社長と全従業員が対話できる機会の拡大（四半期毎）	企画 中	実施中	(3)⑦⑨
			3) 心理的安全性を保つ職場づくり	・ハラスメントの撲滅活動（“バワハラゼロ活動”） 撲滅のしくみやルールの整備に加え、教育を通じて"互いを尊重し、 意見を伝え合うコミュニケーション・職場風土"を推進	実施中	実施中	(3)⑦
		(2) 主体性と能力を 引き出す人づくり	1) 人づくりを支える施策・人事制度の拡充	・一人ひとりの挑戦意欲を高める機会・制度の拡充 例) 手挙げ制によるプロジェクト参画、役員会議体への参加 等 ・キャリアデザインと連動したローテーション施策の運用強化 ・人間力指標による評価導入（行動評価の重視と360度評価の反映） ・職責・成果に基づく評価・処遇体系	準備中 実施中 企画 中 実施中	実施中	(3)⑧
			2) 人づくりへの積極投資	・従業員がいきいきと働く機会の創出と環境整備の推進 例) 技能員も含めたITツールの全員支給、職場環境改善、スキルアップ教育 等	準備中	実施中	
			3) 業務の生産性向上、ムダの撲滅	・一旦、社内会議全てをリセットし、経営会議に提案・承認案件を集約する ・会議系の廃止により、事前説明・根回し・調整といった低付加価値の作業を全廃する ・思考停止で無駄に実施していた業務/行動/備品を撲滅し、工数/費用の創出	-	実施中	

NO.	大項目	中項目	小項目	実施内容	ステータス（22.10.7）	# 6【今回】 ステータス（24.3）	是正報告書(別表1) との関係		
3	新しい「日野の クルマづくり」の ための構造改革	(1) クルマづくりの プロセスの再構築・ 再定義	1) 「みんなでクルマをつくる」体制の確立	・チーフエンジニアを中心にみんなでクルマづくりができる体制（全員参加方式）	企画 中	実施中	(2)⑤		
			2) クルマづくりのプロセス再構築	・進行中のプロジェクトについても現有リソースを前提に根本的に見直し ・場当たりのな新規追加を行わない中期的な商品計画の設定 ・企画立案から生産開始までのプロセスと次に進む条件/責任者を明文化 ・各種開発会議にて「何を決めるのか」を明文化		実施中			
				・認証プロセスの再構築、法規要件チェックの上流化		-		実施済	
				・開発関連会議体の整理統合と各会議体の意思決定者明確化		-		実施済	
				・柔軟なスケジュール修正手続と責任者明確化のプロセス規定の整備 [A-14]		実施済		実施済	(2)⑥
	(2) あるべきプロセスの 正しい運用	1) 外部の目も入れた「品質を確保するための仕組み」 の導入 [A-3]	・ISO9001など、外部の目で実効性をチェックできる仕組みと運用する体制 ・同システムに関する考え方や進め方を一致させるための「全社推進部署」を新設 ・認証、開発、品質保証業務に対する社内相互監査体制の構築	企画 中	実施済	(1)①			
		2) 認証機能に関する牽制構造（チェック体制）の 確立・強化 [A-1]	・認証試験・申請機能を技術開発本部から品質本部に移管、健全な社内牽制できる体制に変更 ・技術開発本部から法規認証室を分離し、法規認証部に格上げの上コーポレート本部へ移設（'20/2月） ・開発体制を、一貫プロセス化に伴い、再編('21/2月） ・法規認証部を品質本部に移設('21/4月）	実施 済	実施済	(1)①			
		3) 法規認証を部外から監査する機能の設置 [A-2]	・開発・品質本部から独立した内部監査部内に技術領域の監査機能を新設し、 技術コンプライアンス責任者と連携の上、監査を実施		実施済				
		4) 内部監査部の監査プログラムの整備 [A-8]	・認証業務の監査のための監査プログラム（監査項目・手順書他）を整備		実施済				
		5) 認証試験記録保存に関する規則類の整備 [A-7]	・認証試験データ記録保存に関する業務規程およびマニュアル類の整備		実施済		(1)③		
		6) 試験記録保存体制の整備 [A-10]	・トレーサビリティとアクセス制限を確保した認証試験の記録保存体制の整備 ・外部システムによる認証試験データ保存自動化システムの構築	実施 中	実施中				
		7) 品質保証部門の生産試作車・量産車評価内容見直し	・法規要求に加え、認証申請値（諸元値）に対する判定に見直し。 ・品質保証部が開発ステージでの監査活動を実施できる、新たな規定の制定を実施。 ・量産判断および、出荷判断の厳格化。（規定の見直し） ・号試移行等での保証活動の明確化。（品質保証規則の見直し）	企画 中	実施済	(2)⑥			
		8) ROI(投資利益率)視点の企画起草	・企画起草時にROIを見極め、中期的な商品計画を立案 ・商品化後の「総括」の徹底		実施中				
		9) 開発目標値等の物差し合わせ	・量産ばらつき実力の把握と、それを踏まえた開発目標値・諸元値・出荷管理値の決定 ・燃費目標管理値の決め方、測定方法の明文化		実施中 実施済		(1)③		
		10) 認証業務を担当する人員拡充 [A-12]	・認証業務に従事する陣容を拡充（前々年同月比40％増）	実施 済	実施済	(1)①			
		11) 認証試験実施に関する規定類の整備 [A-5]	・認証試験の正しい手順を規程化、禁止事項の確実な盛り込み、認証試験データのチェック・記録作業の標準書作成	実施 済	実施済	(1)③			
		12) 認証申請手続に関する規定類の整備 [A-6]	・認証プロセスにおける法規認証部の役割及び権限明記、認証業務プロセスに関する規程整備		実施済				
		13) 認証移行プロセス管理の改善 [A-4]	・技術的・客観的根拠に基づく開発完了を判定する場として、開発評価とは別に法規認証部による「認証移行会議」を設置し、運用開始		実施済				
		14) 法規情報の収集及び法令解釈を正確に行うための 体制整備 [A-9]	・G-RIS運用法見直し、技術標準や規定類のアップデート、法規解説書の登録、要件以外の不要項目の削除、記入漏れの再確認 法文記載項目のわかりづらい文章の改訂	-	実施中	(1)②			
			・法規情報収集・蓄積の体制強化、法規責任者の拡充、法規情報展開および法規解釈検討の仕組み化、 法規情報管理規定の整備	実施 済	実施済				
			・技術法規動向・法規情報を前広に情報収集し社内展開する体制の整備	-	実施中				
			・設計/実験標準や品証規定などへ最新法規取り込みプロセスとアップデートの責任明確化 ・技術系自工会対応体制の構築と自工会情報を含めた法規動向説明会の定期開催	企画 中	実施中 実施済				
		15) 制御ソフト変更管理の改善 [A-11]	・認証・劣化耐久試験で使用する制御ソフトにつき法規的な観点から下記管理強化を実施 ・開発試験での制御ソフトと試験結果を紐づけ管理 ・制御ソフト変更時のランニングチェンジ管理	実施 中	実施済				
			・適合担当と制御担当の間で制御設計の考え方と適合の進め方を議論し結果を残す ・各試作車のソフトウェア仕様や適合値の適正な確定日程と日程管理責任者の明確化	企画 中	実施中 実施済				
		16) 開発・認証関連のコンプライアンス研修実施 [A-13]	・新規制定または改定した規定類及び、適用される環境法令を含めた関連法令に関する教育を継続的に実施 ・更に、国内法規についての外部専門機関による体系的な教育プログラムを開始	実施 中	実施中	(1)② (2)④			
		17) 「新しいクルマづくり」に沿った技術者教育	・新しい開発プロセスを前提として、技術者、開発者向けの教育プログラムの内容を見直し	-	実施中				
		18) 開発部門内の組織再編 [A-18]	・技術開発本部内に横断的な企画・調整調整機能としてPT企画部を新設 ・無理のないプロジェクトの規模・期間の設定などを含む開発体制の管理	実施 済	実施 済	(2)⑤ (2)⑥			
			19) 適正な人的リソース確保の仕組み構築 [A-15]						
			20) エンジン認証試験用ベンチの増設 [A-16]						
			21) 設備投資に係る予算承認手続の明確化 [A-17]						